この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

マックス株式会社

事業所	郵便番号	住所	電話
本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8121㈹
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8118㈹
札幌店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)261-7141㈹
仙台店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)236-4121㈹
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8531㈹
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)444－2031㈹
広島店	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)411-5416㈹
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2－10－3	TEL(019)621-3541㈹
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市簗瀬町2313	TEL(028)636-3012㈹
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297－12	TEL(0471)32-1500㈹
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5－17－19	TEL(042)528-3051㈹
川崎営業所	〒213-0032	川崎市高津区久地597－1セブンエステート久地1F	TEL(044)844-4700㈹
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東2－22－15	TEL(053)439-3300㈹
岐阜営業所	〒501-6016	羽島郡岐南町徳田4－274	TEL(058)276-6551㈹
泉南営業所	〒596-0825	岸和田市土生町2－30－39	TEL(0724)36-2211㈹
神戸営業所	〒658-0081	神戸市東灘区田中町3－3－3	TEL(078)412-6220㈹
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3－24	TEL(099)269-5347㈹
新潟マックス㈱	〒955-0081	三条市東裏館2－14－28	TEL(0256)34-2112㈹
水戸マックス㈱	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2－3－27	TEL(029)255-3761㈹
群馬マックス㈱	〒379-2215	佐波郡赤堀町大字今井543－2	TEL(0270)62-1123㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0044	大宮市日進町3－421	TEL(048)651-5341㈹
千葉マックス㈱	〒284-0001	四街道市大日1870－1	TEL(043)422-7400㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7－6	TEL(045)364-5661㈹
長野マックス㈱	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377㈹
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島1－35－1	TEL(0262)85-6740㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036	静岡市敷地1－3－26	TEL(054)237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸2－15	TEL(076)240-1871㈹
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10－8	TEL(0764)52-0182㈹
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2－1711	TEL(0776)27-3378㈹
京滋マックス㈱	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061㈹
兵庫マックス㈱	〒673-0404	三木市大村109－1	TEL(0794)83-2121㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田3－23－28	TEL(086)246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町761－3	TEL(087)866-5599㈹
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広1－4－25	TEL(0886)23-0286㈹
松山営業所	〒790-0951	松山市天山町28－1	TEL(089)913-0608㈹
マックスサービス㈱本社	〒330-0038	埼玉県大宮市宮原町2－99－5	TEL(048)667-6448㈹
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)446－0815㈹
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8210㈹
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)451-6430㈹
マックスサービス㈱広島	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-5670㈹
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)237-0778㈹
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)231-6487㈹

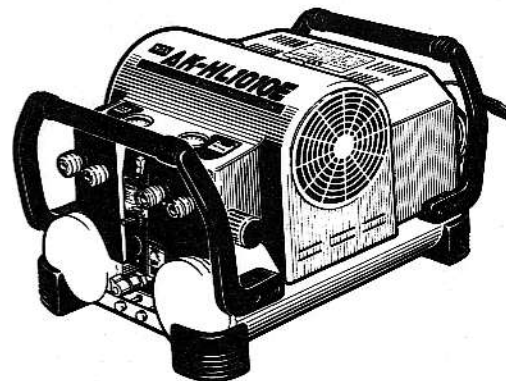
●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

G0006

マックススーパーエア・コンプレッサ

AK-HL1010E

取扱説明書

⚠ 警告

- ●使用前に必ず取扱説明書を読む。
- ●延長コードやドラムコードなどを使用する場合は、必ず「太さ2.0㎟以上、長さ30m以内のもの」を全て引き出し、のばした状態で使用する。
- ●本機の設置場所は硬く水平な所とする。不安定な場所では絶対に使用しない。
- ●揮発性可燃物（ガソリン、シンナー等）のある場所では絶対に作動させない。
- ●感電事故防止の為、アースクリップを必ず接地（アース）する。
- ●雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。
- ●高温や直射日光が当たる場所で絶対に使用しない。
- ●電源は、必ずAC100Vで電流容量20A以上のブレーカーを使用する。やむをえず15Aのブレーカーを使用する場合は、電力モードダイヤルを15A電源用に設定する。
- ●異常を感じたら絶対に使用しない。
- ●本機にエアホースを接続する前に必ずホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。
- ●移動時・作業終了時は必ず電源スイッチを切り、ドレンコックを徐々にゆるめ、エアタンク内のドレンと圧縮空気を排出する。
- ●改造及び衝撃を絶対に加えない。

●この取扱説明書と保証書は常時内容が確認できるよう保管してください。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびはマックスエアコンプレッサをお買上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

1.「警告」：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

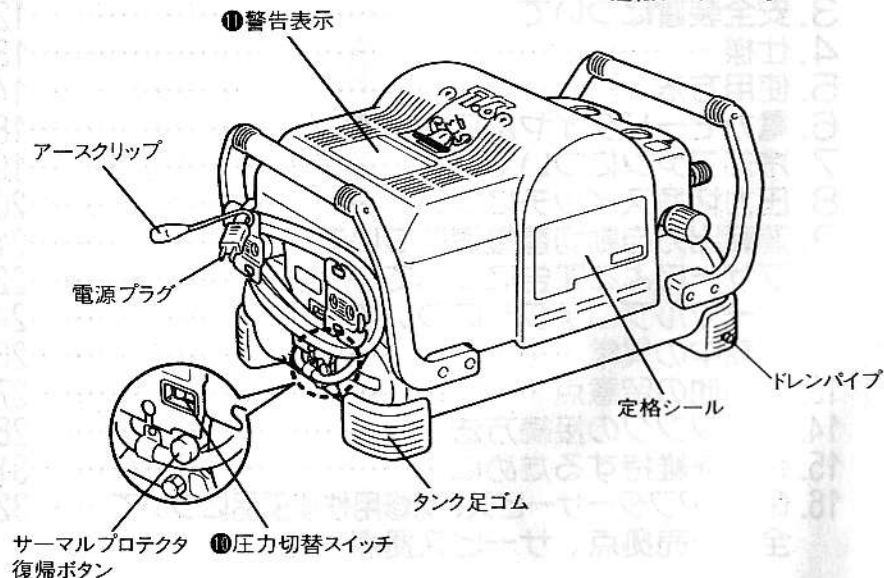
2.「注意」：この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
また、取扱いを誤った場合には、エアコンプレッサ本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

現品の確認

●エアコンプレッサが到着しましたら次の確認を行ってください。
●ご注文の商品かどうか。（50Hz用、60Hz用はパッケージと定格シールに明記してあります。）
●輸送による破損や部品の紛失がないかどうか。
※上記の点で不都合がありましたら、お買求めの販売店へご相談ください。
※使用電源の周波数が異なる地域でご使用になる場合には、必ず販売店へご相談ください。

目　次

1 各部の名称

〈運転時の適正設置方向〉
※このイラストのように設置して運転してください。

主要部品機能説明

❶電源スイッチ	電源の入・切（ON・OFF）をします。
❷減圧弁 調整ハンドル(H)（オレンジキャップ）	スーパーネイラ専用です。スーパーネイラの使用圧力に調整します。
❸減圧弁 調整ハンドル(L)（イエローキャップ）	一般釘打機・エア工具（使用圧力8.5気圧以下）の供給圧力を調整します。
❹圧力計（2個）	減圧弁（H）（L）それぞれの設定圧力値を表示します。（H側は25気圧以下、L側は8.5気圧以下）
❺専用エアチャック（スーパーネイラ専用エア取り出し口）	スーパーネイラ専用エアホースを接続します。
❻エアチャック（一般釘打機、エア工具用エア取り出し口）	一般釘打機用のエアホースを接続します。

※減圧弁の圧力設定により、同時に2通りの圧力帯を使用し、スーパーネイラと一般釘打機・エア工具を利用できます。

❼電力モードダイヤル	元電源が20A以上で正常電圧の場合は20A電源用に、元電源が15Aもしくは電圧降下している場合(照明機器、電動工具併用時等）は15A電源用にダイヤルを設定します。
❽ドレンコック	一日一回以上作業終了後に圧縮空気とドレン（水など）を抜きます。
❾専用補助タンク接続口	専用補助タンクを増設する時に使用します。スーパーエア専用のエアチャック（専用補助タンクに付属）と専用エアホース（別売）が必要です。
❿圧力切換スイッチ	エアタンク内に充填される圧縮空気の圧力を切り替えます。一般釘打機・エア工具を連続して使用しない場合は、20kgf/㎠(1.96MPa)設定にすることでエアコンプレッサの運転時間（充填時間）を短かくすることができます。(20ページ 圧力切換スイッチの項参照） **※圧力切替スイッチの初期設定（出荷時の設定）は30kgf/㎠（2.94MPa）に設定してあります。**
⓫警告表示	使用上の警告事項を記載してあります。使用時は必ず読んでください。

2 ⚠警 告　安全作業のために

本機は、釘打機などのエア工具のエア源となるエアコンプレッサです。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また本機に触らせないでください。

※文中の各部品設置箇所は1ページ「各部の名称」にて確認してください。

⚠警 告

作業前

❶

❶作業環境に応じた防具等を着用する。

作業環境に応じて、保護メガネ・防音保護具・保安帽・安全靴等の防具を着用してください。

❷使用前に必ず点検する。

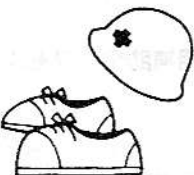
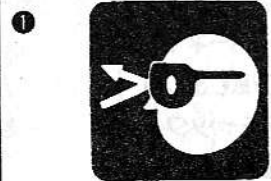
電源プラグを、コンセントに接続する前に次の点検を必ず行ってください。

1.ボルト・ナットやネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。

2.各部部品が外れていたり傷んでいないか。

3.電源プラグ・コードに異常がないか。

❷-1,2

不完全なまま使うと事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又は、マックスサービス㈱へ点検に出してください。

❸電源およびブレーカーは、必ずAC100Vで電流容量20A以上のものを使用する。やむをえず15Aのブレーカーを使用する場合は、本機の電力モードダイヤルを15A電源用に設定する。

必ずAC100Vで電流容量20A以上のブレーカーを使用してください。やむをえず15Aのブレーカーを使用する場合は、電力モードダイヤルを15A電源用に設定してください。(18ページ参照) 指定電圧以外の使用や、電流容量20A未満(電力モードダイヤルを15A電源用に設定した時は電流容量15A未満) の使用は故障の原因だけでなく、発火・発熱の危険性がありますので絶対に使用しないでください。

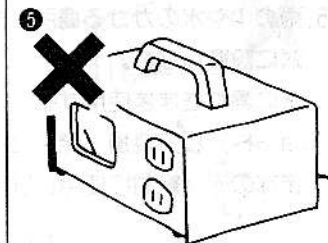
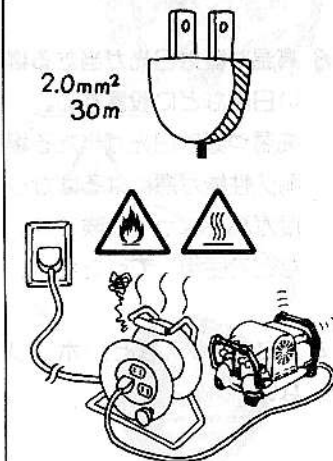
❹延長コードやドラムコードなどを使用する場合は、必ず「太さ2.0㎟以上、長さ30m以内のもの」を全て引き出し、のばした状態で使用する。

必ず「太さ2.0㎟以上、長さ30m以内のもの」を全て引き出し、のばした状態で使用してください。太さ2.0㎟未満のものの使用及びコードを巻いたままの使用は、故障の原因だけでなく、発火、発熱の危険性がありますので絶対に使用しないでください。

❺本機の電源に昇圧器などのトランス類は絶対に使用しない。

故障の原因や焼損の原因になりますので絶対にしないでください。

❻エンジン発電機や直流電源では使用しない。

故障の原因や焼損の原因になります。詳しくは、お買い求めの販売店又は、弊社担当者にお問い合わせください。

❼本機の設置場所に関しての注意

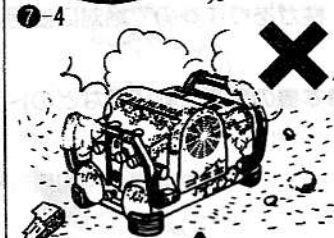
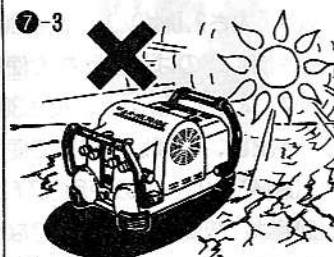
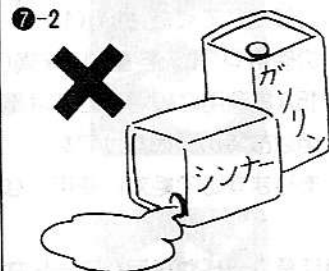
1.硬く水平な場所に必ず設置する。
移動や落下の危険性のある不安定な場所には絶対に設置しないでください。

2.揮発性可燃物（ガソリン・シンナー等）のある場所には絶対に設置しない。

3.高温や直射日光が当たる場所は避け、風通しのよい日陰などに設置する。
高温や直射日光が当たる場所で使用すると本機の耐久性能が悪くなるばかりでなく、機械本体の温度が高くなって危険です。必ず風通しのよい日陰などで使用してください。

4.ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所には設置しない。

5.雨の中や水のかかる場所・湿気の多い場所には絶対に設置しない。
水に濡れたまま使用すると、感電したり短絡（ショート）して焼損・発火による火災の恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

6.適正な設置方向に必ず設置する。
1ページ「各部の名称」イラストを参考に適正な設置をしてください。

❽運搬に関しての注意

1.運搬時には必ず電源スイッチを切って（OFFにして）、電源プラグをコンセントから抜く。

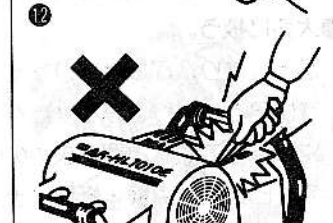
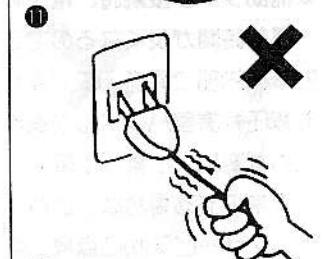
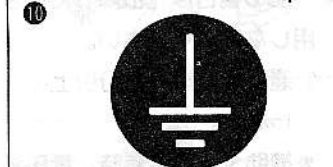
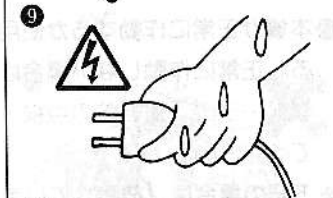
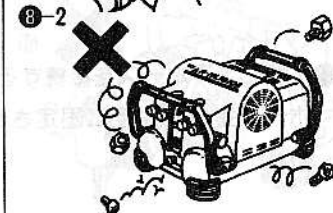
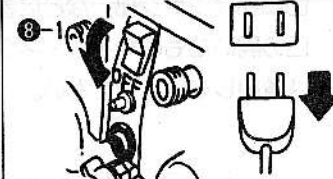
2.運搬前に必ずグリップ、エアタンクなどが変形や破損していないか、ボルト・ナットやネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていたりしないか点検・確認する。
※異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

3.運搬は丁寧に行う。

❾濡れた手で絶対に触れない。
濡れた手で電源プラグ等を持つと感電する恐れがありますので、絶対に触れないでください。

❿感電事故防止の為、アースクリップを必ず接地（アース）する。
アース線をガス管等に取付けることは危険ですので、絶対に接続しないでください。
※アースの埋め込みやアース線を接続するような工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談してください。また接地と共に漏電しゃ断器の設置された電源に接続されることをおすすめします。

⓫電源コードは大切に扱う。
電源コードを引っ張って本機を移動させたり、電源コードを引っ張ってコンセントから電源プラグを引き抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡（ショート）の原因になります。また、電源コードが刃物類や高熱のもの、油、グリースなどに触れないように注意してください。電源コードが損傷した場合は修理に出してください。

⓬本機の通風孔や回転部（ファン部）などに異物を入れない。
感電や故障、事故の原因となります。

⓭正しい服装で作業する。

回転部（ファン部）などに巻きこまれないよう、袖口の開いたものや手袋・ネクタイ・ネックレスなどは着用しないでください。

⓮本機にエアホースを接続する前に必ずエアホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。

⓯本機が正常に作動するか使用前に必ず点検・確認する。正常に作動しない場合は、使用しない。

14ページの「運転前の点検・確認」に沿って点検してください。

※下記の場合は、故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1.運転開始後、5分以上待ってもモータが自動停止しない。

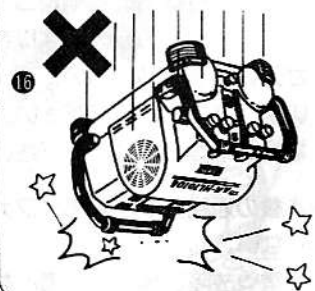
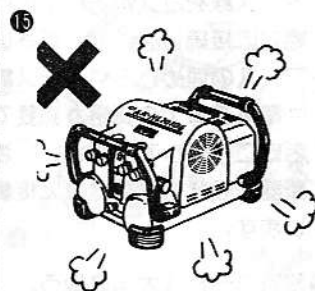
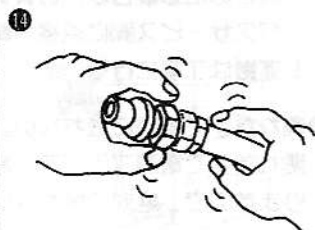
※補助タンク接続時、電圧降下時(21ページ参照)は運転時間が長くなるのでこの場合は除きます。

2.本機内部で異音・エア漏れ音がする。

3.減圧弁調整ハンドルを操作しても圧力計の表示圧力が変化（上昇・下降）しない。

異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

⓰大切に扱う。

落としたり、ぶつけたりすると故障の原因となります。落としたり、ぶつけたりした場合は、外観上異常がなくても、お買い求めの販売店又は、マックスサービス㈱へ点検・修理に出してください。

⓱本機を長時間連続して運転する用途には使用しない。

釘打機のエア源以外の用途や、長時間連続運転となる用途に使用する場合は、あらかじめ必要性能などを取扱い販売店や弊社担当者に確認してください。

⓲専用補助タンク接続口から、直接釘打機・エア工具を接続することは絶対にしない。

釘打機・エア工具の使用圧力範囲を超えたエアが機械に充填され、破損事故を招くおそれがあります。

⓳エアセット等の重量物を、エアコンプレッサのエアチャックに直接取付けない。

取付けたエアセット等の重量物と本機の振動によって配管部の破損を招くおそれがあります。

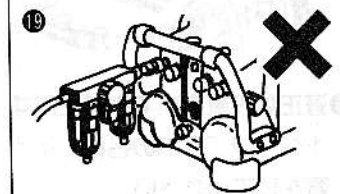
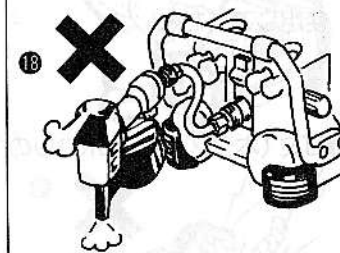
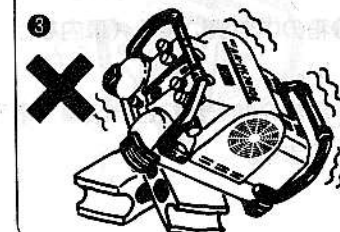
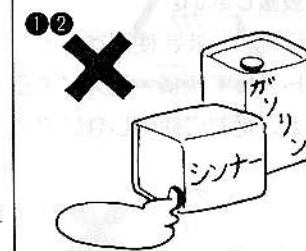
作業中

❶揮発性可燃物のある場所では絶対に使用しない。

ガソリン、シンナー、ガス、塗料、接着剤などのそばでは、引火または爆発の恐れがあるので絶対に使用しないでください。

❷火気や燃えやすいもののそばでは絶対に使用しない。

❸不安定な場所では絶対に使用しない。

移動や落下の危険性のある場所では絶対に使用しないでください。

❹高温や直射日光が当たる場所は避け、必ず風通しのよい日陰などで<u>使用する。</u>

高温や直射日光が当たる場所で使用すると、本機の耐久性能が悪くなるばかりでなく機械本体の温度が高くなって危険です。必ず風通しのよい日陰などで使用してください。

❺ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所では<u>使用しない。</u>

❻適正な設置方向で必ず<u>使用する。</u>

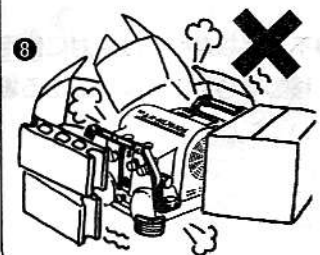
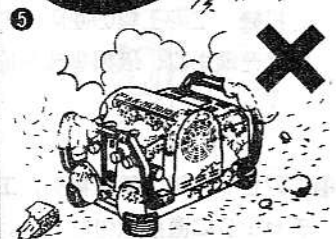
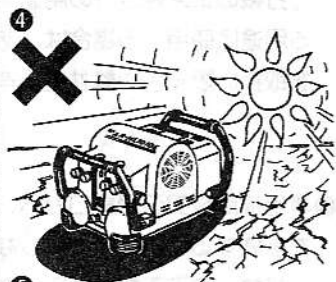
１ページ「各部の名称」イラストを参考に適正な設置をしてください。

❼雨の中や水のかかる場所、湿気の多い場所には絶対に<u>設置しない。</u>

水に濡れたまま使用すると、感電したり短絡（ショート）して焼損・発火による火災の恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

❽箱の中や狭い場所（車内など）では絶対に<u>使用しない。</u>

異常発熱をまねき、故障・事故の原因となる事があります。

2 ⚠警 告 | 安全作業のために

❾上面部に座ったり、物をのせることは<u>絶対にしない。</u>

本機の故障や破損を招くおそれがありますので、上面部に座ったり、物をのせないでください。

❿回転部（ファン部）などには絶対に異物や手を<u>近づけない。</u>

回転部にはさまれたり、巻き込まれたりしてケガをすることがありますので絶対にしないでください。

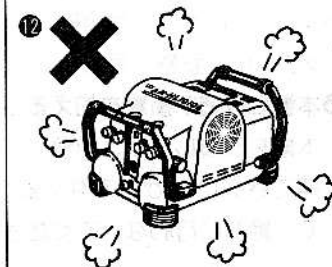
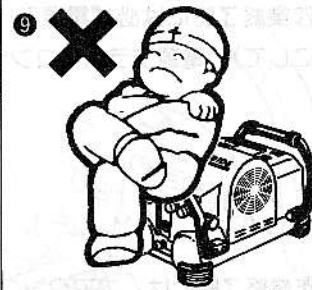
⓫運転時、運転直後のエアタンク、エアチャック、カバー取付ネジ等、金属部は絶対に素手で<u>さわらない。</u>

空気の圧縮熱で高温になる場合がありますので、火傷をする恐れがあります。移動などは、熱が下がってから行なってください。

⓬異常を感じたら絶対に<u>使用しない。</u>

機械の調子が悪い時、異常に気づいた時は直ちに電源スイッチを切って（OFFにして）、電源プラグをコンセントから抜き、使用をやめ、点検・修理に出してください。

2 ⚠警告 安全作業のために

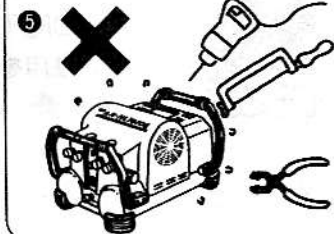
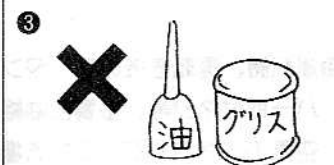
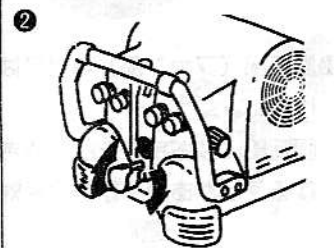
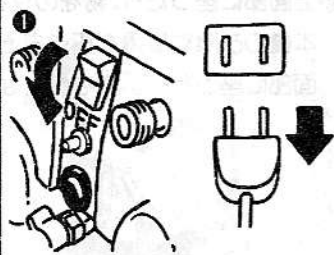
作業後

❶作業終了時には必ず電源スイッチを切って（OFFにして）、電源プラグをコンセントから抜く。

❷作業終了時には、エアタンク内のドレンとエアを排出する。

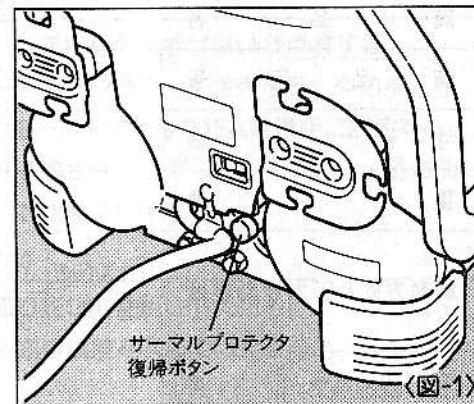
❸本機を大切に手入れする。
より安全に性能を発揮させせるため、損傷のない最良の状態に保ってください。グリップ部は乾燥させ、清潔にし、油やグリースが付かないようにしてください。

❹本機を分解しない。
万一故障した時は、点検・修理に出してください。

❺本機に改造や衝撃を加えることは、絶対に行わない。
本機を改造したり、衝撃を加えると本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

3 安全装置について

本機には安全を確保するため次のような安全装置がついています。

●サーマルプロテクタ
（モータ焼損防止装置）
不適切な電源や配線方法で本機を使用し、モータ内に異常電流が流れた場合や圧縮機本体に異常がある場合に、電気回路を遮断しモータの運転を停止させ、モータ焼損を防止する装置です。（24ページ参照） 〈図-1〉

〈図-1〉

●エアタンク部用リリーフバルブ
本機は圧力スイッチにより、エアタンク内圧が約30kgf/㎠（2.94MPa）または20kgf/㎠（1.96MPa）に達すると自動的にモータの運転を停止します。万一圧力スイッチの故障によってエアタンク内圧が異常高圧になった場合、リリーフバルブより音を発し、エアタンク内圧を減圧します。その場合は、ただちに本機の使用を中止し、お買い求めの販売店又は、マックスサービス㈱に点検・修理に出してください。
※本機のリリーフバルブは、本体（カバー内）に設けられています。
リリーフバルブの設定圧力の調整はできません。

●減圧弁L部用リリーフバルブ
本機の減圧弁L側は、一般釘打機・エア工具（使用圧力8.5気圧以下）に使用します。減圧弁Lの故障によって2次配管（減圧弁L後）が異常高圧になった場合、リリーフバルブより音を発し、2次配管内圧力を減圧します。その場合は、ただちに本機の使用を中止し、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

4 仕様

項目		商品仕様	
商品名		マックススーパーエアー・コンプレッサ	
商品記号		AK-HL1010E[5](50Hz用)	AK-HL1010E[6](60Hz用)
寸法		高さ318×幅363×長さ529㎜	
重量		29kg	
制御方式と圧力制御範囲	圧力スイッチ切替方式	OFF圧約30kgf/㎠(2.94MPa) ON圧約26kgf/㎠(2.55MPa)	
		OFF圧約20kgf/㎠(1.96MPa) ON圧約16kgf/㎠(1.56MPa)	
モータ		単相誘導電動機1200W	
使用電源		AC100V(50Hz)	AC100V(60Hz)
負荷電流		15A	
回転数		1400回転/分	1700回転/分
吐出量	(7kgf/㎠運転時)	120ℓ/min	
	(15kgf/㎠運転時)	※110ℓ/min	
	(23kgf/㎠運転時)	※65ℓ/min	※100ℓ/min
気筒径(㎜)×行程(㎜)×気筒数		1段側 70×32×1 2段側 47×15×1	1段側 70×28×1 2段側 47×15×1
エアタンク容量		10ℓ	
減圧弁の圧力調整範囲		減圧弁(H)3~25kgf/㎠ 減圧弁(L)0.5~8.5kgf/㎠	
リリーフバルブの設定圧力		約11kgf/㎠(減圧弁L部) 約33kgf/㎠(エアタンク部)	
空気取出口		スーパーネイラ専用エアチャック(2個)、一般釘打機・エア工具用エアチャック ワンタッチ式(2個)	
		専用補助タンク用取出口付(専用ネジ)	

※電源状態によって異なります。

5 使用方法

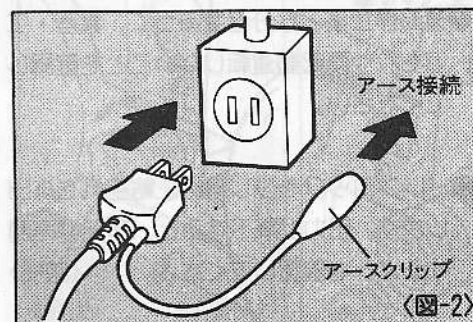
運転前の点検・確認

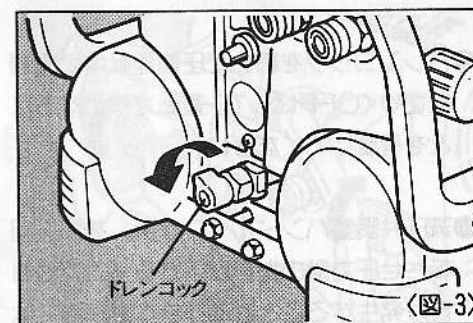
⚠警告

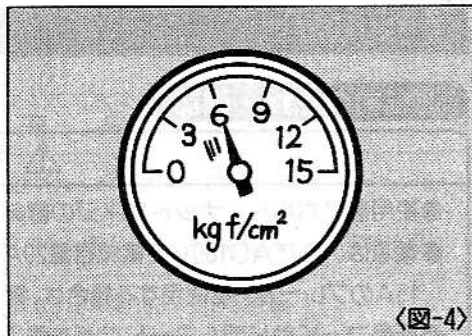
- 使用前にボルト・ナットやネジの緩み、各部部品の欠損がないか点検する。
- 電源は、必ずAC100Vで電流容量20A以上のブレーカーを使用する。やむをえず15Aのブレーカーを使用する場合は、電力モードダイヤルを15A電源用に設定する。
- 延長コードやドラムコードなどを使用する場合は、必ず「太さ2.0㎟以上、長さ30m以内のもの」を全て引き出し、のばした状態で使用する。
- 適正な設置方向で必ず使用する。

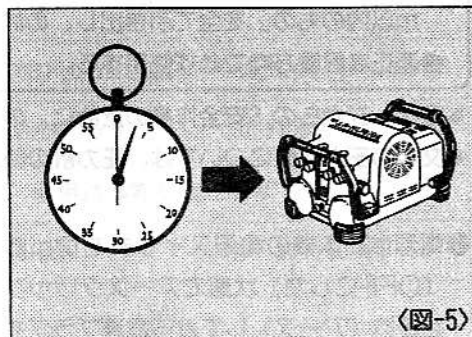
※3ページからの「安全作業のために」の通り正しく使用してください。
※文中の圧力数値については、圧力計の読み取り誤差を含んでいません。

❶電源は、本機の電源スイッチを切った(OFFにした)状態でアースクリップを接地(アース)してから電源プラグをコンセントに差込みます。〈図-2〉
※延長コードやドラムコードなどを使用する場合は有効断面積が2㎟以上、長さ30m以内の電線としてください。

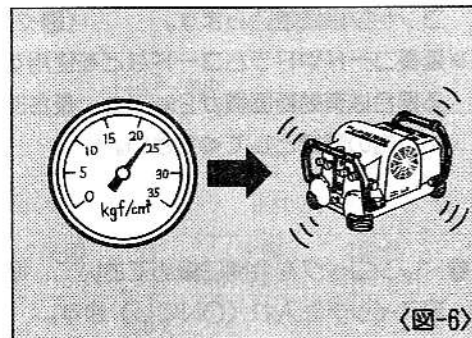
〈図-2〉

❷ドレンコックを全開に緩めておいて、電源スイッチを入れ(ONにし)ます。
❸モータが回転し、ドレンコックから空気が出ていることを確認してください。
❹ドレンコックを締めて、ドレンコックからエアもれが無いことを確認してください。〈図-3〉

〈図-3〉

❺減圧弁調整ハンドル（2ケ所）を、止まるまで右回転させ圧力計の指針が動く（上昇する）ことを2ケ所とも確認してください。 〈図-4〉

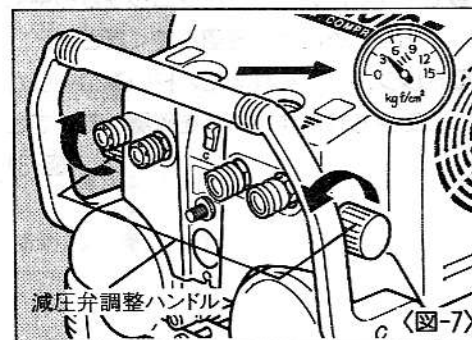
〈図-4〉

❻3～5分程度で自動的に圧縮運転が停止することを確認してください。（補助タンク接続時、電圧降下時〈21ページ参照〉は運転時間が長くなる関係でこの場合は除きます。） 〈図-5〉

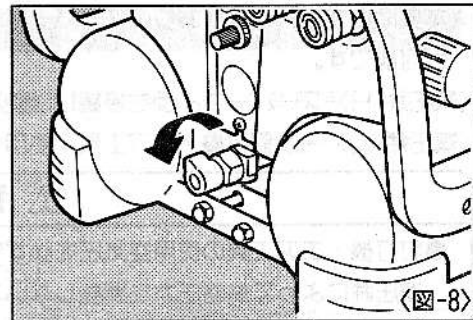
〈図-5〉

❼運転停止後、5分程度待って、異音・エアもれや再起動運転しないことを確認してください。

❽ドレンコックを少し緩め圧縮空気を排出します。圧力が降下すると、運転が再開することを確認してください。 〈図-6〉

〈図-6〉

❾ドレンコックを締めて圧縮運転中に電源を切り（OFFにして）運転が停止することを確認してください。

❿減圧弁調整ハンドル（2ケ所）を、左回転させ圧力計の指針が下がる（エアもれ音が発生することがありますが故障ではありません。）ことを2ケ所とも確認してください。 〈図-7〉

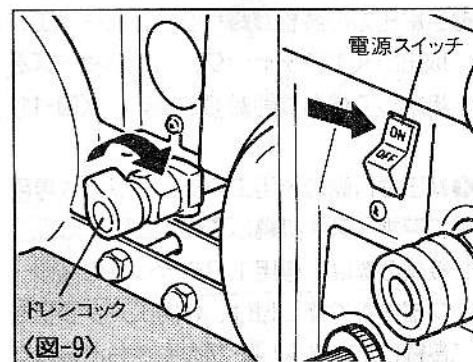
〈図-7〉

⓫ドレンコックを緩め、エアタンク内の圧縮空気とドレンを全て排出してください。 〈図-8〉

〈図-8〉

運転前の点検・確認で異常のある場合は、お買い求めの販売店又は、マックスサービス㈱へ点検・修理に出してください。

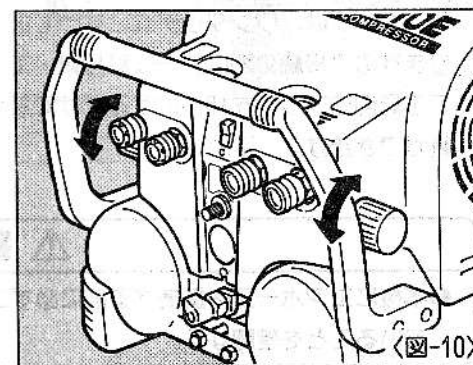
使用手順

使用する場合は必ず14ページ「運転前の点検・確認」を行なってください。

❶ドレンコックを締め電源スイッチを入れ（ONにし）ます。 〈図-9〉

〈図-9〉

❷圧力が上昇して運転が停止しましたら、減圧弁調整ハンドルを回して釘打機・エア工具の適正な使用圧力に調整を行ないます。圧力の調整方法は、減圧弁調整ハンドルを左に回し、適正な圧力より2kgf/㎠以下に一旦減圧を行ないます。次に減圧弁調整ハンドルを右に回し、圧力を上げながら調整を行なってください。 〈図-10〉

〈図-10〉

※圧力を調整する際は、必ず適正圧力より低い圧力から圧力を上げて調整してください。適正な圧力より高い圧力から減圧を行ない調整すると、圧力ゲージと実際の使用圧力に約3kgf/㎠程度の誤差が生じます。（減圧弁の特性）

※本機には減圧弁が２ヶあり、スーパーネイラと一般釘打機・エア工具を接続することが可能です。

〈減圧弁 H〉スーパーネイラを接続し、使用できます。

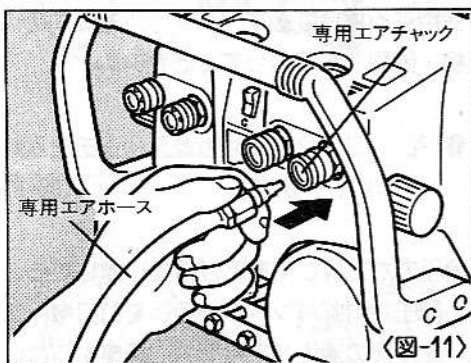
〈減圧弁 L〉一般釘打機・エア工具（使用圧力8.5気圧以下）を接続し、使用できます。

⚠ 警 告

●**釘打機・エア工具の使用空気圧を必ず守る。**
減圧弁によって供給圧力を調整しないで釘打機・エア工具を使用すると、性能が著しく低下したり、寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

※不適正な圧力（必要以上に高い圧力）で釘打機・エア工具を使用するとエア消費量が増加し、釘打機・エア工具の連続作業性能が著しく低下することがあります。必ず適正圧力に調整して使用してください。

❸供給圧力の調整が終わりましたら、エア取出口（エアチャック）にエアホースを接続して作業が開始できます。〈図-11〉

〈図-11〉

❹減圧弁H側の専用エアチャックには専用エアホースを接続してください。
接続の際は、専用エアチャックのスリーブ部を手で押し付け、専用エアプラグを接続したのちスリーブを引きもどします。
減圧弁L側の一般釘打機・エア工具用エアチャックは、ワンタッチ式になっておりますので接続の際は、一般釘打機・エア工具用のプラグを押し付けるだけで接続ができます。

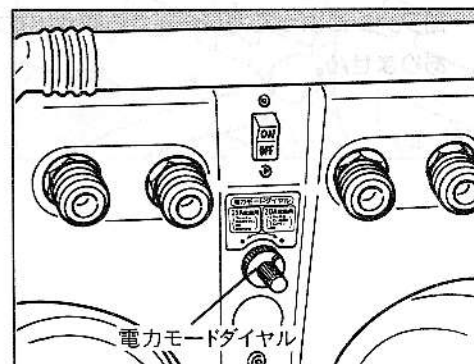
⚠ 警 告

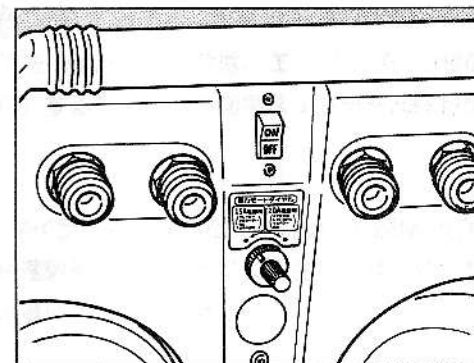
●**本機にエアホースを接続する前に必ずエアホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。**

6 電力モードダイヤルについて

電力モードダイヤルは、元電源のブレーカー容量や電圧状態に応じ、運転時に使用する電流を切り替えることで、20A電源用（フルパワー運転）と15A電源用（省電力運転でブレーカー落ちを軽減）の２種類の運転が設定できます。

【20A電源用にダイヤルを設定した場合】

元電源のブレーカー容量が20A以上あり、正常電圧の場合に電力モードダイヤルを20A電源用に設定することでフルパワー運転を行います。〈図-12〉

【15A電源用にダイヤルを設定した場合】

元電源のブレーカー容量が15Aの場合や電圧が降下した場合（照明機器、電動工具併用時等）、電力モードダイヤルを15A電源用に設定することで省電力運転を行い、元電源のブレーカーの作動を軽減します。
〈図-13〉

※**極度の電圧降下時には対応できない場合があります。**

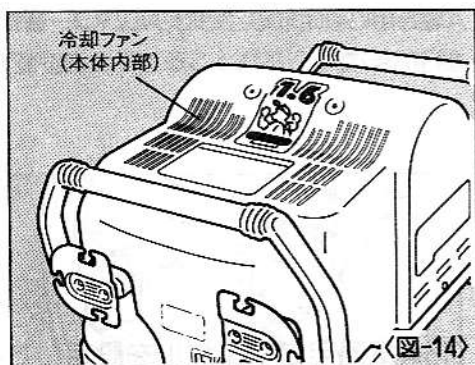
※**15A電源用設定にすると、20A電源用設定に比べて各圧力帯での吐出量が低くなり、充填時間（運転時間）が長くなります。**

7 冷却ファンについて

本機には、圧縮運転による発熱を冷却するためのマイコンタイマー式電動ファンが装備されております。〈図-14〉

コンプレッサの運転時間をマイコンが記憶し、最長で30分間コンプレッサが止まっても冷却ファンが運転します。

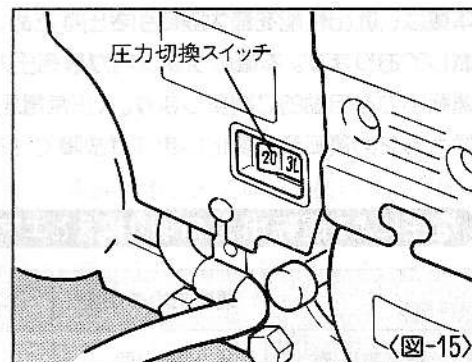
※冷却ファンの運転時間の調整及び手動で止めることは出来ません。また、圧縮熱が冷却ファンによってカバー部から吹き出すため、カバー上部は熱くなりますが故障ではありません。

〈図-14〉

8 圧力切換スイッチについて

本機には、エアタンク内に充塡される最高圧力を20kgf/㎠（1.96MPa）と30kgf/㎠（2.94MPa）に切り替えるスイッチを本体後部に装備しております。〈図-15〉

※スーパーネイラ使用時は、圧力切換スイッチを30kgf/㎠(2.94MPa)に、一般釘打機（ツーバイフォー工法用釘打機）・エア工具使用時は、圧力切換スイッチを20kgf/㎠(1.96MPa)にそれぞれ設定してください。

※スーパーネイラと一般釘打機・エア工具を同時に使用する場合は、圧力切換スイッチを30kgf/㎠(2.94MPa)に設定してください。

〈図-15〉

ツーバイフォー工法のお客さまへ

※釘打機の連続作業が多いツーバイフォー工法へ使用する場合は、エアコンプレッサの長時間連続運転を防止（モータ損傷の防止）するため、圧力切換スイッチを20kgf/㎠（1.96MPa）に設定してご使用ください。

※20kgf/㎠（1.96MPa）設定で、スーパーネイラを使用すると30kgf/㎠（2.94MPa）設定と比べ連続実打性能が低くなり、連続速射時に釘浮きが早く発生します。特に打ち込み対象部材が硬い場合は、釘浮きが顕著にあらわれます。

9 運転出力自動切替機構について

本機は、吐出性能を最大限に引き出すため、マイコンによる運転出力自動切替機構を搭載しております。本機のタンク内が最高圧力の30kgf/㎠(2.94MPa)に達するまでの間、運転出力を自動的に調整します。(正常電圧で使用した場合) この際、運転出力を切り換えるため運転音が変化しますが故障ではありません。

電圧による運転出力の切り換えとエアコンプレッサの運転状態

	運転出力の切換	エアコンプレッサの運転状態	ブザーによる警告音
正常電圧時	1回～3回	3分～5分で自動停止	なし
電圧降下時	ひんぱんに働く	充塡時間5分以上	なし
極度の電圧降下時	ひんぱんに働く	タンク圧力が上昇せず 無負荷運転状態	ピッ、ピッ、ピッ、ピッ と4回の警告音
		モータがロックし、サーマルプロテクタ (元電源のブレーカー飛び)が作動	なし
高電圧時	なし	運転出力が調整され 充塡時間5分以上	ピッ、ピッ と2回の警告音

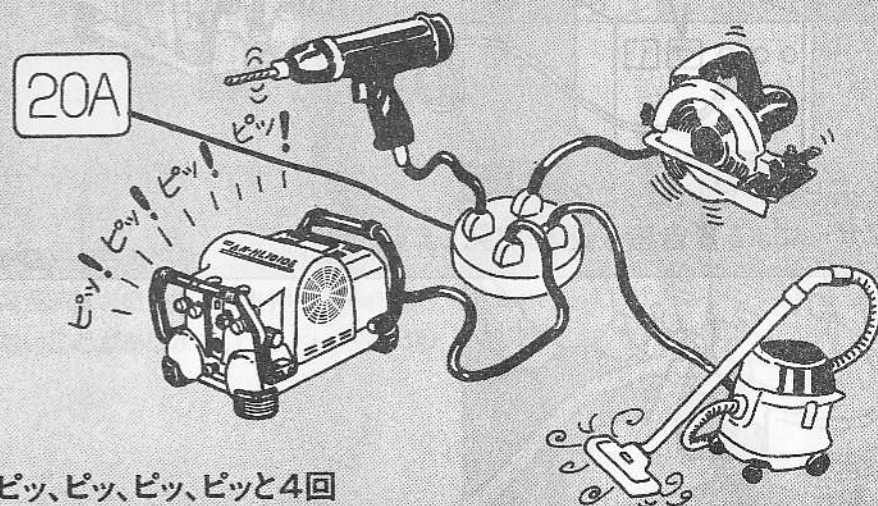
※出力の切り替えが働く圧力は元電源の容量、延長コードの使用等によって変化します。
電圧降下時(元電源の容量不足、延長コード使用時等)に本機を運転した場合は、出力切替がひんぱんに働き、充塡時間が長くなります。極度に電圧が降下した場合は、自動的に無負荷運転(圧縮しない状態)に調整されるため、タンク内圧は上昇しません。無負荷運転状態が続くとブザーによる警告音〈ピッ、ピッ、ピッ、ピッと4回〉で電圧降下を知らせます。(22ページ参照) さらに、出力切替の作動ができる範囲を超えて電圧が降下すると、コンプレッサのモータがロックし、元電源のブレーカーが働く、または、サーマルプロテクタが作動します。(24ページ参照)
また、昇圧器、発電機等の使用時に高電圧で本機を運転した場合は、自動的に運転出力が調整され、電圧降下時同様ブザーによる警告音〈ピッ、ピッと2回〉で高電圧を知らせます。

※警告音が頻繁に働き、充塡時間が長い、または圧力が上昇しない場合は、電源との接続を見直す(元電源に接続する)か、電動工具との併用をさけてください。

10 ブザーによる警告について

本機運転時、極度に電圧が降下した場合や、昇圧機、発電機の使用によって電圧が高くなった場合に自動的に運転出力が調整されるとともに、本機に内蔵されているブザーが警告を発し、電圧異常をお知らせします。

❶低電圧の影響で本機のブザーが鳴った場合は、電源状態が適切か、延長コードが長すぎたり、細すぎないか、また、同一電源で他の電動工具を使用していないかを調べ、その状態であれば延長コードの使用をやめたり、電動工具等の併用をやめてください。
〈図-16〉

〈図-16〉

❷高電圧の影響で本機のブザーが鳴った場合は、延長コードを接続して使用してください。〈図-17〉

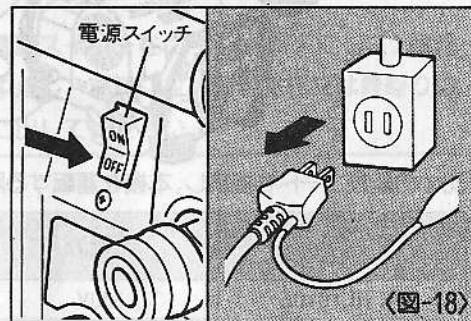
また、エンジン発電機の使用は故障の原因や焼損の原因になりますのでさけてください。詳しくは、お買い求めの販売店又は、弊社担当者にお問い合わせください。

〈図-17〉

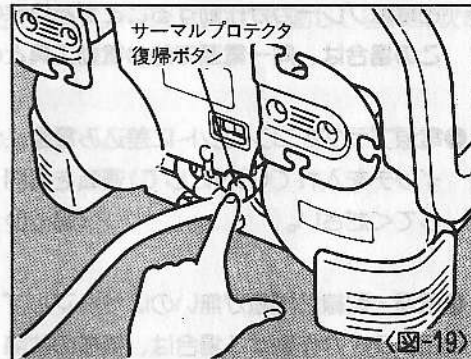
11 サーマルプロテクタについて

運転時に電圧降下が大きかったり、機械内部に異常があったりすると、モータ焼損防止用のサーマルプロテクタが作動してモータが停止することがあります。この場合は、

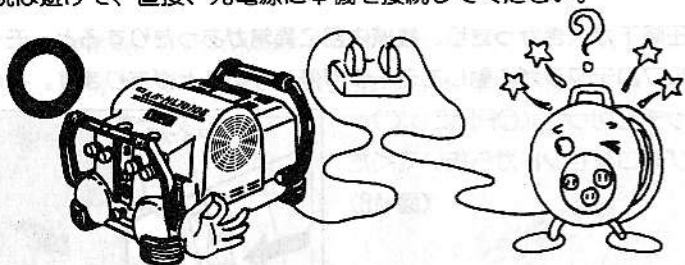
❶電源スイッチを切って(OFFにして)、電源プラグをコンセントから抜いてください。〈図-18〉

〈図-18〉

❷AC100Vで電流容量20A以上のブレーカーを使用しているか、延長コードが長すぎたり、細すぎないか、又同一電源で他の電動工具等を使用していないかを調べ、その状態であれば延長コードの使用をやめたり、電動工具等の使用をやめます。

❸モータが十分に冷えてからサーマルプロテクタ復帰ボタンを「カチッ」と音のするまで指で強く押してください。(モータ高温時は、復帰ボタンを押しても作動しないことがあります。)〈図-19〉

〈図-19〉

⚠ 警 告

●延長コードやドラムコードなどを使用する場合は、必ず「太さ2.0㎟以上、長さ30m以内のもの」を全て引き出し、のばした状態で使用する。

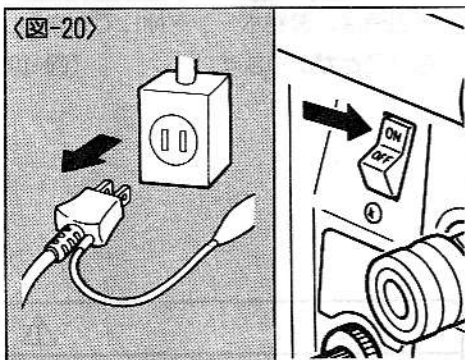
※延長コード使用による電圧降下のトラブルを、未然に防止する為に、なるべく延長コードの接続は避けて、直接、元電源に本機を接続してください。

30mの延長コードを接続し、本機を運転する際の電圧降下予測値(コード断面積別参考値)

	元電源	太さ2.0mm²のコード接続後	太さ3.5mm²のコード接続後
AK-HL1010E	100V	約94V	約97V

※元電源で100V未満の時や、同時に他の電動工具を使用した時は、電圧降下がより一層激しくなります。

※同一電源で他の電動工具を使用し、総消費電流値が電源ブレーカの電流容量を超えると電源ブレーカが作動することがあります。
この場合は、同一電源で他の電動工具との併用はさけてください。

❹電源プラグをコンセントに差込み電源スイッチを入れて(ONにして)運転を再開してください。〈図-20〉

〈図-20〉

❺電源・配線に問題が無いのにサーマルプロテクタが作動する場合は、機械の故障が考えられます。お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

⚠ 注 意

●不適切な電源や配線を使用して極端に電圧が降下した場合には、サーマルプロテクタが動作せずにモータがうなる状態が続き、モータ焼損の原因となります。
●サーマルプロテクタ復帰ボタンを外部から固定したり、改造した場合にはサーマルプロテクタが作動せずにモータがうなる状態が続き、モータ焼損の原因となります。

12 運転中の異常

⚠ 警 告

●異常を感じたら絶対に使用しない。
次のような異常を感じた時は、直ちに電源スイッチを切って(OFFにして)電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、お買い求めの販売店又は最寄りのマックスサービス㈱まで、点検・修理に出してください。

❶電源、配線に問題が無いのに。(24ページ~25ページ「サーマルプロテクタ」の項参照)
●電源スイッチを入れても作動しない。
●モータがうなる。
等の現象が出る。
❷運転中に異常な音がする。(21ページ「運転出力自動切替機構」の項参照)
❸圧力スイッチが作動せず安全弁が作動し、圧縮空気が吹き出す。
❹空気圧が10kgf/㎠ (0.98MPa) 以下のときにリリーフバルブが作動し、空気が吹き出す。
❺空気が漏れている。
❻圧力が上昇しない。(21ページ~23ページ参照)
❼金属部に触れるとビリビリする。
❽上記以外でも使用中に異常を感じる。

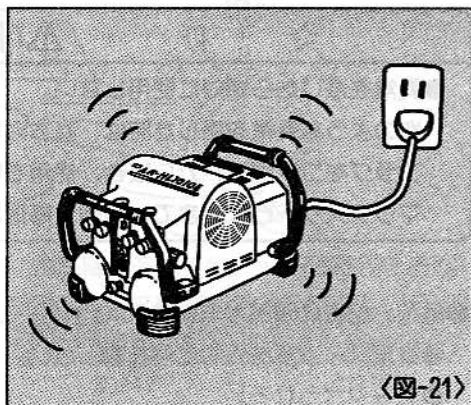
13 その他の留意点

❶本機を寒冷地で使用する場合

凍結による作動不良を防止するため

㋑本機をあらかじめ暖めてから運転してください。

㋺電源プラグを直接、元電源に接続し暖気運転（ドレンコックを開放したまましばらく運転させる）の後、使用してください。延長コードやドラムコードなどを使用する場合は、必ず「太さ2.0㎟以上、長さ30m以内のもの」を全て引き出し、のばして使用してください。〈図-21〉

〈図-21〉

❷専用補助タンクを使用する場合

誤接続による、事故や性能低下を防止するため

㋑使用する専用補助タンクの取扱説明書を必ず読んでください。

㋺本機の専用補助タンク接続口には必ず指定の専用エアチャックを使用してください。

マックス純正スーパーエア用補助タンクには、付属品として接続用専用エアチャックが同梱されています。

㋩本機と専用補助タンクをつなぐ専用エアホース継手の脱着は、両機のエアタンク内に圧縮空気が充填されていないことを確認して行ってください。

14 補助タンクの接続方法

⚠ 警 告

●専用補助タンク使用時は、必ず専用補助タンクの取扱説明書を読む。

●補助タンクに使用するエアホース・接続場所・接続方法は、以下の表を参照して必ず取扱説明書通りの接続を行う。

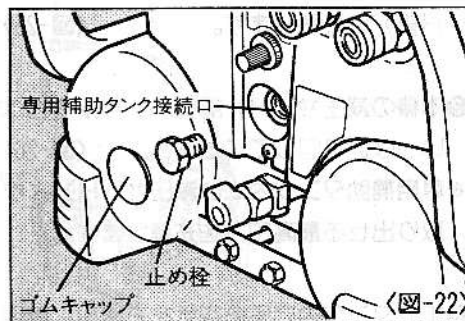
補助タンク商品名	使用エアホース	接続場所	接続方法
専用補助タンク AK-TH12R	専用エアホース KHシリーズ（別売）	専用補助タンク接続口 専用エアチャック（減圧弁H後）	P28【本機の専用補助タンク接続口を使用する場合】参照 P29【本機の専用エアチャック（減圧弁H後）を使用する場合】参照
専用補助タンク AK-TL12R	専用エアホース KHシリーズ（別売）	専用補助タンク接続口 専用エアチャック（減圧弁H後）	P28【本機の専用補助タンク接続口を使用する場合】参照 P29【本機の専用エアチャック（減圧弁H後）を使用する場合】参照
専用補助タンク AK-TH12	専用エアホース KH5×1m（標準装備）	専用補助タンク接続口	P28【本機の専用補助タンク接続口を使用する場合】参照
一般の補助タンク（充填最高圧9.9kgf/㎠=0.97MPa）	一般釘打機・エア工具用エアホース	エアチャック（減圧弁L後）	P29【本機の専用エアチャック（減圧弁H後）を使用する場合】参照

【本機の専用補助タンク接続口を使用する場合】

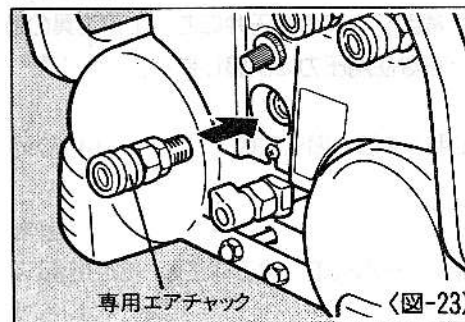
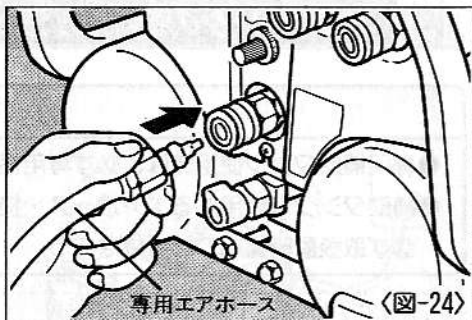
❶本機の専用補助タンク接続口の止め栓をはずします。（逆ねじ仕様）〈図-22〉

⚠ 警 告

●エアタンク内の圧縮空気が全て排出されていることを必ず確認してから止め栓をはずす。

〈図-22〉

❷指定の専用エアチャックを取付けます。〈図-23〉

専用エアチャックは専用補助タンクに、付属品として同梱されています。

〈図-23〉

❸専用補助タンク内へエア供給するための専用エアホース（AK-TH12R、AK-TL12Rは別売、AK-TH12は装備）のエアプラグを取り付けた専用エアチャックに接続します。〈図-24〉

❹エアタンク内に圧縮空気を充塡します。

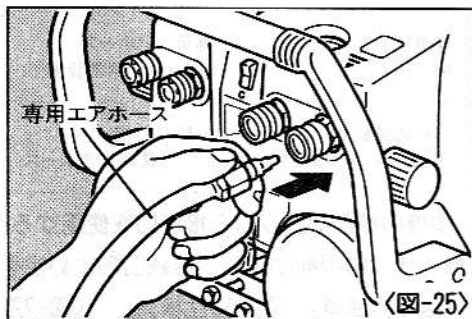
※使用する空気工具の適正な使用圧力に減圧弁にて調整してから使用してください。（AK-TH12R、AK-TL12R）

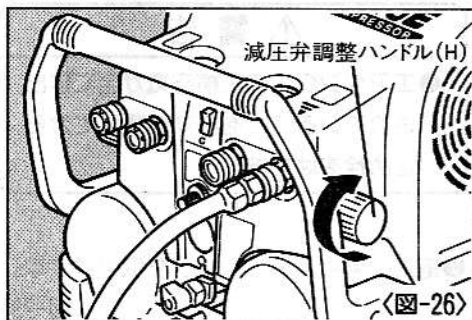
〈図-24〉

【本機の専用エアチャック(減圧弁H後)を使用する場合】

※スーパーネイラ専用のエア取出口（減圧弁H後）に専用補助タンクAK-TH12R、AK-TL12Rが接続できます。

❶専用補助タンク内へエア供給するための専用エアホース（別売）のエアプラグを、本機の空気取出口エアチャック（減圧弁H後）に接続します。〈図-25〉

〈図-25〉

❷本機の減圧弁（H）調整ハンドルを右へいっぱいに回してください。〈図-26〉

※専用補助タンク内には減圧弁（H）より取り出せる最高圧力を充塡します。

❸エアタンク内に圧縮空気を充塡し、専用補助タンクの減圧弁にて、エア工具の適正な使用圧力に調整します。

〈図-26〉

【本機のエアチャック(減圧弁L後)を使用し、一般の補助タンク(充塡最高圧9.9kgf/cm²=0.97MPa未満)を使用する場合】

※エア取出口（減圧弁付）のある補助タンクが接続できます。

❶補助タンク内へエア供給するための一般釘打機・エア工具用エアホース（別売）のエアプラグを、本機の空気取出口エアチャック（減圧弁L後）に接続します。

❷本機の減圧弁（L）調整ハンドルを右へいっぱいに回してください。

→補助タンク内には減圧弁（L）より取り出せる最高圧力を充塡します。

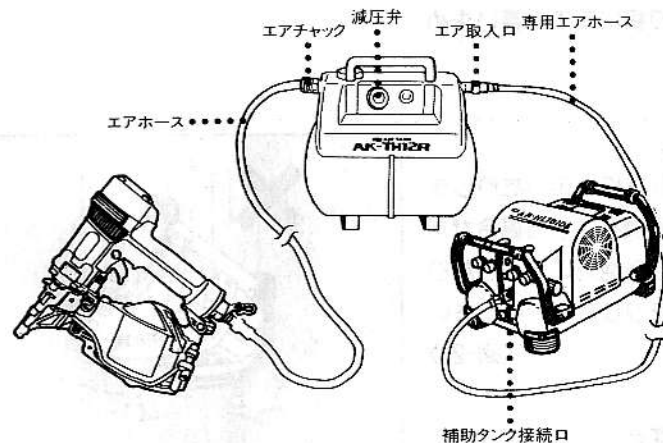
❸エアタンク内に圧縮空気を充塡し、補助タンクの減圧弁にて、釘打機・エア工具の適正な使用圧力に調整します。

補助タンクとエアコンプレッサの接続使用例

〈スーパーネイラを使用する場合〉

❶本機の専用補助タンク接続口と専用補助タンク（AK-TH12R）のエア取入口を専用エアホースで接続します。

（マックス専用エアホース以外は使用できません。）

❷専用補助タンクの減圧弁で調整を行い、専用エアチャックに専用エアホースを接続し、スーパーネイラを使用してください。

〈一般釘打機・エア工具を使用する場合〉

❶本機の専用補助タンク接続口と専用補助タンク（AK-TL12R）のエア取入口を専用エアホースで接続します。

（マックス専用エアホース以外は使用できません。）

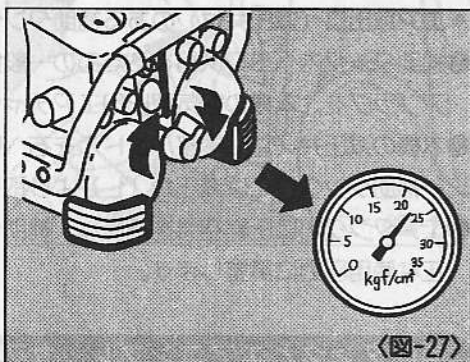
❷専用補助タンクの減圧弁で調整を行い、エア取出口に一般エア工具用エアホースを接続し、一般釘打機・エア工具を使用してください。

15 性能を維持するために

❶本機のドレン抜き（水抜き）をする。

作業終了時は、ドレンコックを徐々に開放し、エアタンク内の圧縮空気とドレン（水）を圧力計の針が0を指すまで全部抜いてください。〈図-27〉

※ドレン抜き（水抜き）を行わないとエアタンク内に錆が発生し、故障の原因となります。

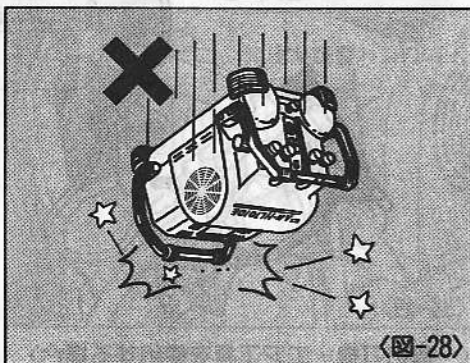
〈図-27〉

❷定期的に点検する。

本機の性能を維持する為に清掃、点検を定期的に行なってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申しつけください。

※コンプレッサの清掃には別売りのエアダスタが便利です。エアダスタは、お近くのマックス製品取り扱い店でお買い求めください。

❸本機を大切に扱う。

落としたり、ぶつけたり、叩いたりしますと変形・亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落としたり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。〈図-28〉

〈図-28〉

❹使用毎に必ず点検する。

3ページの「安全作業のために」の内容に沿って点検・確認を行なってください。

16 保証、アフターサービス、補修用性能部品について

【保証について】

- 本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の保証期間はお買い上げ日より１年間です。

【アフターサービスについて】

- 本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にご相談ください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

【補修用性能部品の最低保有期間】

- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。
- 補修用性能部品とは、本機の性能を維持するために必要な部品です。